

個別原価計算編

1

問1 (1)～(4)は@4点, (5)は2点

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
(1)	(イ)	1,000,000①	(ウ)	960,000①
			(ア)	40,000
(2)	(オ)	815,000②	(イ)	815,000②
(3)	(オ)	968,000③	(エ)	1,580,000⑤
	(カ)	612,000④	()	
(4)	(オ)	1,760,000⑥	(カ)	1,760,000⑥
(5)	(カ)	60,000⑦	(キ)	60,000⑦

① @240 円/個×4,000 個+40,000 円=1,000,000 円 (@250 円/個)

② 240,000 円+2,300 個×@250 円/個※=815,000 円

※ 引取運賃で単価が変わる。

③ @1,100 円/時間×880 時間=968,000 円

④ @1,100 円/時間×20 時間+ (580,000 円-150,000 円+160,000 円) =612,000 円

⑤ ③+④

⑥ 21,600,000 円÷10,800 時間=予定配賦率@2,000 円/時間

@2,000 円/時間×直接作業時間 880 時間=1,760,000 円

⑦ 予定配賦額 1,760,000 円-実際発生額 1,700,000 円= +60,000 円 (有利)

問2 @1点×2=2点

予 算 差 異	操 業 度 差 異
85,000⑧ 円 (借方・貸方)	25,000⑨ 円 (借方・貸方)

⑧ 変動予算 660,000 円 (@750 円/時間×880 時間) +固定予算 1,125,000 円=予算 1,785,000 円

予算額 1,785,000 円-実際発生額 1,700,000 円=85,000 円 (有利差異)

⑨ (実際操業度 880 時間-基準操業度 900 時間) ×固定費率@1,250 円/時間=25,000 円 (不利差異)

2 @4点×5=20点

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
(1)	(ア)	430,000③	(ウ)	395,000①
	()		(イ)	35,000②
(2)	(オ)	1,000④	(イ)	1,000④
(3)	(カ)	1,170,000⑤	(エ)	1,209,000⑦
	(キ)	39,000⑥	()	
(4)	(カ)	3,240,000⑧	(キ)	3,240,000⑧
(5)	(ケ)	72,000⑨	(ク)	84,000⑩
	(キ)	12,000⑪	()	

① @750円/kg×500kg+20,000円=395,000円

② 製造間接費を予定配賦したときのように、同じ貸方に計上する。

③ 外部材料副費（引取運賃）と同じように、内部材料副費を取得原価に含めて処理する。

④ 予定配賦額 35,000円－実際発生額 36,000円＝1,000円（不利差異）

⑤ 直接作業時間（加工時間＋段取り時間）900時間×予定賃率@1,300円/時間＝1,170,000円

⑥ （間接作業時間 23時間＋手待時間 7時間）×予定賃率@1,300円/時間＝39,000円

⑦ ⑤＋⑥

⑧ 年間製造間接費予算 39,744,000円÷年間予定総直接作業時間 11,040時間＝予定配賦率@3,600円/時間

@3,600円/時間×直接作業時間 900時間＝3,240,000円

⑨ （直接作業時間 900時間－基準操業度 920時間※）×予定配賦率@3,600円/時間＝△72,000円（不利）

⑩ 予算額 3,312,000円※－実際発生額 3,228,000円＝＋84,000円（有利）

⑪ ⑨と⑩の貸借差額、または予定配賦額 3,240,000円－実際発生額 3,228,000円＝＋12,000円（有利）

※ 問題文の資料は年間なので、「÷12か月」より月間の値にすること。

3 @4点×5=20点

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
(1)	(ウ)	797,500①	(ア)	797,500①
(2)	(ウ)	514,650②	(オ)	514,650②
(3)	(キ)	1,658,950③	(ウ)	1,658,950③
(4)	(エ)	18,900④	(ア)	18,900④
(5)	(ク)	20,250⑤	(オ)	24,300⑦
	(カ)	4,050⑥	()	

① $(850\text{kg} + 1,240\text{kg} + 1,100\text{kg}) \times \text{予定消費単価} @250 \text{ 円/kg} = 797,500 \text{ 円}$

② $(420 \text{ 時間} + 610 \text{ 時間} + 380 \text{ 時間}) \times \text{予定配賦率} @365/\text{時間} * = 514,650 \text{ 円}$

※ 変動費率@140 円/時間+固定費率 (4,050,000 円÷18,000 時間)

③ #501: $155,500 \text{ 円} + (850\text{kg} \times @250 \text{ 円/kg}) + (200 \text{ 時間} \times @1,100 \text{ 円/時間}) + (420 \text{ 時間} \times @365/\text{時間}) = 741,300 \text{ 円}$

#502: $(1,240\text{kg} \times @250 \text{ 円/kg}) + (350 \text{ 時間} \times @1,100 \text{ 円/時間}) + (610 \text{ 時間} \times @365/\text{時間}) = 917,650 \text{ 円}$

$741,300 \text{ 円} + 917,650 \text{ 円} = 1,658,950 \text{ 円}$

④ $(650\text{kg} \times @240/\text{kg}) + (2,540\text{kg} \times @260/\text{kg}) = \text{実際消費高} 816,400 \text{ 円}$

予定消費高 797,500① - 実際消費高 816,400 円 = △18,900 円 (不利)

⑤ $(\text{実際操業度} 1,410 \text{ 時間} - \text{基準操業度} 1,500 \text{ 時間} *) \times \text{固定費率} @225/\text{時間} = \Delta 20,250 \text{ 円 (不利)}$

⑥ 変動費率@140 円/時間×実際操業度 1,410 時間+固定費 337,500 円※ = 予算額 534,900 円

予算額 534,900 円 - 実際発生額 538,950 円 = △4,050 円 (不利)

⑦ ⑤と⑥の貸借差額, または予定配賦額 514,650 円 - 実際発生額 538,950 円 = △24,300 円 (不利)

※ 問題文の資料は年間なので, 「÷12 か月」より月間の値にすること。

問1 @2点×8=16点

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
(1)	(ア)	1,220,000①	(カ)	1,220,000①
(2)	(エ)	2,070,000②	(イ)	2,145,000④
	(ウ)	75,000③	()	
(3)	(ウ)	875,000⑤	(イ)	875,000⑤
(4)	(ウ)	100,000⑥	(カ)	100,000⑥
(5)	(エ)	300,000⑦	(カ)	300,000⑦
(6)	(ウ)	45,000⑧	(ア)	45,000⑧
(7)	(エ)	1,242,000⑨	(ウ)	1,242,000⑨
(8)	(オ)	3,762,500⑩	(エ)	3,762,500⑩

① $3,000\text{kg} \times @400 \text{円/kg} + 100\text{kg} \times @100 \text{円/kg} + 10,000 \text{円} = 1,220,000 \text{円}$

② $2,760 \text{時間} \times @750 \text{円/時間} = 2,070,000 \text{円}$

③ $100 \text{時間} \times @750 \text{円/時間} = 75,000 \text{円}$

④ ②+③

⑤ $900,000 \text{円} - 100,000 \text{円} + 75,000 \text{円} = 875,000 \text{円}$

⑥ $1,200,000 \text{円} \div 12 \text{か月} = 100,000 \text{円}$

減価償却費勘定が設定されておらず、間接経費なので、借方は「製造間接費」、機械減価償却累計額勘定が設定されておらず、支払い関係は全て本社なので、貸方は「本社」で処理します。

⑦ 特許権使用料勘定が設定されておらず、直接経費なので、借方は「仕掛品」、支払い関係は全て本社なので、貸方は「本社」で処理します。

⑧ 棚卸減耗損勘定が設定されておらず、間接経費なので、借方は「製造間接費」、貸方は「材料」で処理します。

⑨ $\text{年間製造間接費予算 } 15,120,000 \text{円} \div \text{年間予定総直接作業時間 } 33,600 \text{時間} = \text{予定配賦率} @450 \text{円/時間}$
 $@450 \text{円/時間} \times \text{直接作業時間 } 2,760 \text{時間} = 1,242,000 \text{円}$

⑩ $2,750,000 \text{円} + @450 \text{円/時間} \times \text{直接作業時間 } 2,250 \text{時間} = 3,762,500 \text{円}$

問2 @2点×2=4点

予 算 差 異		操 業 度 差 異	
10,000⑪	円 (借方・貸方)	18,000⑫	円 (借方・貸方)

⑪ $\text{固定予算 } 1,260,000 \text{円} * - \text{実際発生額 } 1,250,000 \text{円} = +10,000 \text{円 (有利)}$

⑫ $(\text{実際操業度 } 2,760 \text{時間} - \text{基準操業度 } 2,800 \text{時間} *) \times \text{予定配賦率} @450 \text{円/時間} = \Delta 18,000 \text{円 (不利)}$

※ 問題文の資料は年間なので、「÷12か月」より月間の値にすること。

5 @2点×10=20点

材 料			
月初有高	(96,000) ①	直接材料費	(1,030,000) ④
当月仕入高	(1,148,000) ②	間接材料費	(67,000) ⑤
		月末有高	(147,000) ⑥
	(1,244,000) ③		(1,244,000) ③

製造間接費			
間接材料費	(67,000) ⑤	予定配賦額	(1,648,000) ⑧
間接労務費	776,000	原価差異	(45,000) ⑨
間接経費	850,000		
	(1,693,000) ⑦		(1,693,000) ⑦

仕 掛 品			
月初有高	466,000	当月完成高	(2,918,000) ⑪
直接材料費	(1,030,000) ④	月末有高	428,000
直接労務費	202,000		
製造間接費	(1,648,000) ⑧		
	(3,346,000) ⑩		(3,346,000) ⑩

- ① 月初有高の原料X88,000円+消耗品Y8,000円=96,000円
 ② 2日530,000円+13日33,000円+14日550,000円+23日35,000円=1,148,000円
 ③ ①+②
 ④ 8日440,000円+18日590,000円=1,030,000円
 ⑤ 月初有高8,000円+13日33,000円+23日35,000円-月末有高9,000円=67,000円
 ⑥ 貸借差額, または原料X月末有高138,000円(月初有高88,000円+2日530,000円+14日550,000円-8日440,000円-18日590,000円)+消耗品Y月末有高9,000円
 ⑦ 借方合計
 ⑧ 予定配賦率@1.6円(19,200,000円÷12,000,000円)/円×1,030,000円④=1,648,000円
 ⑨ 貸借差額
 ⑩ 借方合計
 ⑪ 貸借差額

問1 @2点×4=8点

予算部門費配賦表

(単位：円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		第1製造部	第2製造部	修繕部	材料倉庫部	工場事務部
部門費	69,360,000	32,880,000	24,480,000	4,500,000	3,500,000	4,000,000
修繕部費	4,500,000	3,000,000①	1,500,000②			
材料倉庫部費	3,500,000	2,000,000③	1,500,000④			
工場事務部費	4,000,000	2,080,000⑤	1,920,000⑥			
製造部門費	69,360,000	39,960,000	29,400,000			

① $4,500,000 \text{ 円} \times 60 \text{ 回} \div (60 \text{ 回} + 30 \text{ 回}) = 3,000,000 \text{ 円}$

② $4,500,000 \text{ 円} \times 30 \text{ 回} \div (60 \text{ 回} + 30 \text{ 回}) = 1,500,000 \text{ 円}$

③ $3,500,000 \text{ 円} \times 20,000 \text{ 千円} \div (20,000 \text{ 千円} + 15,000 \text{ 千円}) = 2,000,000 \text{ 円}$

④ $3,500,000 \text{ 円} \times 15,000 \text{ 千円} \div (20,000 \text{ 千円} + 15,000 \text{ 千円}) = 1,500,000 \text{ 円}$

⑤ $4,000,000 \text{ 円} \times 52 \text{ 人} \div (52 \text{ 人} + 48 \text{ 人}) = 2,080,000 \text{ 円}$

⑥ $4,000,000 \text{ 円} \times 48 \text{ 人} \div (52 \text{ 人} + 48 \text{ 人}) = 1,920,000 \text{ 円}$

問2 @4点×3=12点

製造間接費 (第1製造部)

(単位：円)

当月実際配賦額	3,000,000	予定配賦額	(2,960,000) ⑦
予算差異	(330,000) ⑧	操業度差異	(370,000) ⑨
	(3,330,000)		(3,330,000)

⑦ 第1製造部年間予算 39,960,000 円 ÷ 年間予定直接作業時間 10,800 時間 = @3,700 円/時間
@3,700 円/時間 × 800 時間 = 2,960,000 円

⑧ 月間予算額 3,330,000 円 ※ - 実際発生額 3,000,000 円 = +330,000 円 (有利)

⑨ (実際操業度 800 時間 - 基準操業度 900 時間 ※) × @3,700 円/時間 = Δ370,000 円 (不利)

※ 問題文の資料は年間なので、「÷12 か月」より月間の値にすること。

7

問1 @ 3点×6=18点

仕 掛 品		(単位：円)
前 月 繰 越	(515,000)⑥	製 品
直 接 材 料 費	(450,000)③	次 月 繰 越
直 接 労 務 費	(900,000)④	
製 造 間 接 費	(1,080,000)⑤	
	(2,945,000)	(2,415,000)①
		(530,000)②
		(2,945,000)

① 製造指図書番号ごとに集計しましょう。

#101 225,000円+350,000円+420,000円=995,000円 (製品勘定の前月繰越)

#102 75,000円+200,000円+240,000円=515,000円…a (仕掛品勘定の前月繰越⑥)

100,000円+120,000円=220,000円…b

515,000円+220,000円=735,000円

#201 100,000円+400,000円+480,000円=980,000円

#202 150,000円+250,000円+300,000円=700,000円

#203 200,000円+150,000円+180,000円=530,000円

→ 2月に完成した#102+#201+#202

② 2月に未完成で終わった#103

③ 100,000円+150,000円+200,000円=450,000円

④ 100,000円+400,000円+250,000円+150,000円=900,000円

⑤ 120,000円+480,000円+300,000円+180,000円=1,080,000円

⑥ 貸借差額, または, 上記#102のa

問2 2点

売上原価 = 2,720,000⑦ 円

⑦ 2月に引き渡した#101と#102と#201の合計2,710,000円

予定配賦額1,080,000円-実際発生額1,090,000円=△10,000円(不利)

不利差異は売上原価を高くするので, 2,710,000円+10,000円=2,720,000円

問1 @2点×2=4点

9月末の仕掛品有高	4,200,000①円
9月末の製品有高	2,850,000②円

① 9月末時点の原価計算表より、9月末時点の未完成品である#902と#903の合計

② 9月末時点の原価計算表より、9月末時点の完成品である#901

問2 @2点×3=6点

直接材料費	800,000③円
直接労務費	1,050,000円
製造間接費	2,100,000円

③ 10月末時点の原価計算表の直接材料費合計2,600,000円と9月末時点の原価計算表の直接材料費合計1,800,000円との差額（以下、直接労務費および製造間接費とも同じ）

問3 4点

借方		貸方	
記号	金額	記号	金額
(イ)	7,050,000④	(ウ)	7,050,000④

④ 10月末時点の原価計算表より、10月中に完成した#902と#903と#1001の合計

問4 @2点×2=4点

10月末の仕掛品有高	1,100,000⑤円
10月末の製品有高	2,250,000⑥円

⑤ 10月末時点の原価計算表より、10月末時点で未完成だった#1002

⑥ 10月末時点の原価計算表より、10月中に完成したものの10月末時点で在庫となった#1001

問5 2点

10月の売上原価	7,650,000⑦円
----------	-------------

⑦ 10月末時点の原価計算表より、10月中に引き渡した#901と#902と#903の合計

以下のような勘定をイメージすると、解答しやすいかもしれません…

仕掛品				製品			
前月繰越	4,200,000	当期完成高	7,050,000	前月繰越	2,850,000	売上原価	7,650,000
直接材料費	800,000	次月繰越	1,100,000	当期完成高	7,050,000	次月繰越	2,250,000
直接労務費	1,050,000				9,900,000		9,900,000
製造間接費	2,100,000						
	<u>8,150,000</u>		<u>8,150,000</u>				

9 @2点×10=20点

製造原価報告書		(単位：円)
直接材料費	(550,000①)
直接労務費	(255,000②)
製造間接費		1,040,000
合計	(1,845,000)
製造間接費配賦差異	(20,000⑧)
当月製造費用	(1,825,000⑦)
月初仕掛品原価	(0⑥)
合計	(1,825,000⑤)
月末仕掛品原価	(525,000④)
当月製品製造原価	(1,300,000③)

① 250,000円 + 50,000円 + 100,000円 + 150,000円 = 550,000円

② (160時間 + 30時間 + 50時間 + 100時間) × 予定賃率@750円/時間 = 255,000円

③ 9月中に完成した#902 (#902-2も含む) と#903の合計

#902 250,000円 + 50,000円 + 190時間 × (予定賃率@750円/時間 + 予定配賦率@3,000円/時間) = 1,012,500円

#903 100,000円 + 50時間 × (予定賃率@750円/時間 + 予定配賦率@3,000円/時間) = 287,500円

④ 9月末時点で未完成の#904の合計

#904 150,000円 + 100時間 × (予定賃率@750円/時間 + 予定配賦率@3,000円/時間) = 525,000円

⑤ ③ + ④

⑥ #901は8月末時点で完成しているため、月初仕掛品は存在しない

⑦ ⑤ + ⑥

⑧ 1,845,000と⑦の差額、または予定配賦額1,020,000円※ - 実際発生額1,040,000円 = △20,000円(不利)

※ 年間製造間接費予算額 18,000,000円 ÷ 年間正常直接作業時間 6,000時間 = 予定配賦率@3,000円/時間

予定配賦率@3,000円/時間 × (160時間 + 30時間 + 50時間 + 100時間) = 1,020,000円

※ いきなり製造原価報告書を作成するのではなく、下記のように仕掛品をメモ書きするとよいでしょう。

仕掛品			
前月繰越	0	当期完成高	1,300,000
直接材料費	550,000	次月繰越	525,000
直接労務費	255,000		
製造間接費	1,020,000		
	1,825,000		1,825,000

消費額の計算は、予定があれば実際ではなく予定で計算します。よって、製造間接費は予定配賦額1,020,000円となり、**当月製造費用は1,825,000円**です。

<u>月次損益計算書</u>		(単位：円)	
売	上	高	4,250,000
売	上	原 価	(1,662,500 ^⑨)
原	価	差 異	(20,000 ^⑧)
	計		(1,682,500 ^⑩)
売 上 総 利 益			(2,567,500)
販売費および一般管理費			725,000
営 業 利 益			(1,842,500)

⑨ 9月中に引き渡した#901と#902（#902-2含む）の合計

#901 200,000円 + 120時間 × (予定賃率@750円/時間 + 予定配賦率@3,000円/時間) = 650,000円

⑩ ⑨ + ⑧ (不利差異は、損益計算書に計上する売上原価にプラス)

※ 製造原価報告書はその反対 (マイナス) と覚えてもよいでしょう。

問1 @ 3点×3 = 9点

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
(1)	(ア)	3,224,000①	(カ)	3,224,000①
(2)	(イ)	3,240,000②	(ア)	3,240,000②
(3)	(ウ)	150,000③	(ア)	150,000③

① 1,300kg×実際購入単価@2,480円/kg=3,224,000円

② 資料2 当月の原価計算表の直接材料費合計

③ 350kg×@2,600円/kg+1,000kg×@2,480円/kg=実際消費高 3,390,000円

予定消費高 3,240,000円－実際消費高 3,390,000円＝△150,000円（不利）

問2 2点

完成品原価 = 3,744,000④ 円

④ 1,320,000円+680,000円+1,088,000円+240,000円+160,000円+256,000円=3,744,000円

問3 @ 3点×3 = 9点

製造間接費

実際発生額	2,764,400	予定配賦額	(2,624,000)⑤
		予算差異	(44,400)⑥
		操業度差異	(96,000)⑦
	2,764,400		2,764,400

⑤ 資料2 当月の原価計算表の製造間接費合計

⑥ 月間予算額 2,720,000円－実際発生額 2,764,400円＝△44,400円（不利）

⑦ 貸借差額

※ 今回は、操業度差異を計算する資料が与えられていないため。